



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

**慶應義塾大学 広島通信三田会報**

**みやじま**

**第53号**

**2018年3月**

**慶應義塾大学 広島通信三田会**

# 目 次

広島慶友会との交流会について	P 2～3
総会案内	P 3
第24回中四国合同通信三田会	P 4～5
全国通信三田会	P 4～5
会員情報 河村保	P 4～6
檜原宏明	P 7
編集後記	P 8

## 広島慶友会との交流会開催

地方の通信三田会は新入会員の減少（ゼロ）傾向と会員の高齢化により、会員の減少で維持が困難になっております。慶友会も首都圏が大半で地方は減少が続いているそうです。

通信三田会の維持、活性化には新塾員の入会が不可欠であることから、以前から慶友会との交流が課題になっておりました。3年前、広島慶友会時代、会長を務めた脇雄二君の入会により、広島慶友会とのパイプができ、話しあいができるようになりました。今回の交流会も同君の呼びかけにより実現しました。「慶應を通信で卒業」は多くの障害が伴い、卒業生は数パーセント（以前は3～5%）と言われていました。塾生から塾員へ、我々当会員も通った道、アドバイスや勇気づけることができれば、幸いです。社中交流は慶應の伝統、これからも交流会を続けたい、と思っています。

### 記

日時 平成30年3月17日（土）10：30～14：00

参加者 広島通信三田会（8名）

    迫田会長、森副会長、瀬戸田副会長、小田会計、河村監事、脇幹事、大門、檜原  
    広島慶友会（3名）

    益田会長、橘、松岡

原爆資料館見学 10：30～12：00

1945年（昭和20年）8月6日、世界で最初に戦争兵器として広島に投下された1発の原子爆弾は一瞬にして、広島を焼け野が原に、その年末までに14万人の人が亡くなった、と言われます。その惨状、非人道性を映像や資料で見学しました。

同資料館には各国リーダーを始め、内外から年間180万人が見学しています。

昼食会と交流会 12：30～14：00

メルパルク2階のレストランで食事をとりながら、自己紹介や近況等を行い、交流を深めました。

メルパルクのレストラン前で集合写真（逆光のため見えにくいかも）



前列左から益田、森、小田、迫田 後列左から河村、松岡、檜原、大門

## 総 会 案 内

当会の総会を下記の通り行います。多くの会員の御出席をお願いします。

日時 平成30年4月28日（土）11:00

場所 交流プラザ3階（市内中区袋町 袋町小学校隣）

- 議題
- 1、平成29年度事業報告、
  - 2、平成29年度会計報告、監査報告
  - 3、平成30年度時事業計画案、予算案
  - 4、第25回中四国合同通信三田会について
  - 5、役員改選
  - 6、全国通信三田会幹事会（5月26日）について
  - 7、その他

出欠 同封のハガキで4月23日（月）までにお送り下さい。

終了後、中食会を行う予定です。

出席される方は、平成30年度会費（2,000円）をお願いします。

## 第24回、中四国合同通信三田会

日時 平成30年4月21日(土) 13:30~19:00  
場所 松山市道後温泉『有輪荘』 〒790-0843 松山市道後町2丁目12-11  
(電話) 089-925-2013 FAX 089-925-2086  
会議 13:30~16:30  
懇親会 17:00~19:00  
会費 会議費 500円(資料代含む) 懇親会費 5,500円(飲み放題・記念写真付き)

## 全国通信三田会春期幹事会

日時 平成30年5月26日(土)  
場所 一燈園 〒607-8025 京都市山科区四ノ宮柳山町29-13 TEL075-595-3711  
① 一燈園見学 11:30集合 12:00~12:45 予定  
② 春期幹事会 13:15~14:45 予定  
③ 記念撮影  
④ 記念講演会 15:00~16:00 予定  
講師: 相 大二郎 (一燈園・燈影学園学園長)  
演題: 「ここはどこだろう」  
⑤ 懇親会 18:30~20:30 予定  
会場 京都ガーデンパレスホテル  
〒602-0912 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605  
TEL075-411-0111

## 会 員 情 報

下記会員が小説の出版やCDを出しました。口コミやメール等でPR、応援しましょう。

### 1、河村保君・・・小説「尾道物語」出版

小説「尾道物語」文庫本を出版しました。

購入方法

- ① 全国の書店に在庫がないかも知れません、その際は書店に注文して下さい。取り寄せてくれます(定価540円)
- ② 著者の河村君に直接、注文することも出来ますが、本人の希望は、出来るだけ書店に注文して下さい、とのことでした。
- ③ 河村君に注文の場合、一冊の場合送料込みで555円です、10冊以上は送料無料です。
- ④ 榊文芸社(出版社)の著者サービスセンターへ直接注文することも出来ます。  
インターネットで『尾道物語』で検索することができます。



「尾道物語」のカバー(帯をひろげた写真)



帯にある小説の内容

## 『尾道物語』を出版して

河村 保（1977年9月経済卒）

『尾道物語』を出版しました。長年の希望だったので、ホッとしています。

『出版おめでとう』と言ってくれる人もありますが、内心は心晴れないことが、多々あります。

肝心な著書は、他人様へ読んで頂ける程のモノなのか。尾道の人や関係者へ迷惑をおかけはしないか。著者学歴で、慶応卒と書いて恥ずかしくないか。

親しい友人の中には、酷評をして下さる人もあります。身近な妻からは猛反対されています。直木賞を受賞したのなら別ですが、そんなにおめでとうを言っただけのものでもありません。長編でもありません。商業ベースの出版社があって、そこへ原稿を出して、出版分担金として、お金を納入すれば、発行してもらえます。内実は自費出版です。私の場合、文庫版で薄っぺらな小説です。それでも、約70万円です。「編集者がついて、しっかりした構成・校正をすること。全国的な広告と契約書店に配本する。本書は大変完成度の高いものです、もったいない。色々と支援します」それが売り言葉でした。

事情通によると、本が売れるか売れないかは、出版社の編集者の力量に掛かっているとされています。編集者は時代の風評・人間の生きざま等の風評を読んで、構成を考え著者にアドバイスします。その編集者が手掛けたベストセラーが複数誕生しているようです。でも、そう簡単ではない。やはり、自分の能力が肝心なところ です。

小説だから、何を書いてもかまわないか、と言うとそうではないとの事。実在のお寺があって、その人物を活動させると、活動が悪行でなくとも、プライバシー的に問題が発生するらしい。名前を架空のものに変えれば、問題ないとの事。例えば千光寺を万光寺とする。でも、これでは、尾道の物語になりません。

司馬遼太郎の『竜馬がゆく』では、龍馬を竜馬と変えて、著者が自分の坂本龍馬像を作り上げて自由に書き上げたのだ、という説があります。こうすることで史実に基づいていないでも自由に書けたのでしょう。坂本龍馬は大変な英傑に仕立てられています、「いろは丸」の軋の浦での海難事故に対するものは、自分の非を知りながら、相手を悪者にして、積み荷もごまかして、賠

償金を脅し取ったのです。

好評をして下さった人もあります。熱烈で、仲間へ販売するからと、10冊注文して下さった方も居られます。

感想文を頂きました。

感想①尾道市立大学(芸術文化学部長で定年退職された、寺杣雅人名誉教授から。

『河村様の創造世界に再び引き込まれました。尾道にも住まれているのでしょうか、表題にふさわしく尾道に関するさまざまなディープな情報が盛り込まれ、尾道紹介の役をも果たす作品のように思いました。いまは尾道市立大学といますが、前身は尾道市立の尾道短期大学で、この作品にはその略称「おのたん」の語も登場していて、そこに昭和57年に赴任した私はたいへん懐かしい言葉に接することができました。

こんどは『続尾道物語』として、「おのたん」ゆかりの娘の生涯など構想、執筆して下さったらと思います。』

感想②同期の秋田通信三田会の猿田健一君から

A4半ページを超えて感想文を頂きました。「近くなら行ってみたいと、魅力的に感じられました。現実的な寺の継承。物語の展開はどうなるのか、短い場面の区切りがあり、とても読みやすく、少しはらはらしながら、楽しみながら、読み終えることができました。人生、仏心が、描かれた、素晴らしい物語でした。」(抜粋)

感想③呉市の歴史の会の会長(塾員)、大久保良則先輩から

手書きで、8ページの感想文を頂きました。第一に歴史・文学についての所感を頂きました。

「何より作品背景の尾道の風光明媚、生活感が活写されています。」(抜粋)

感想④サマースクーリング同室の親友D君から(抜粋)

☆ストーリーがあちこちに行っていて、いったい何を言いたいのか分かりませんでした。

☆ウメは何人ですか? 「ニョライサマ・・・」とカタカナで表記されているのですが、中国人?朝鮮人?

お答え⇒多方面の尾道を描いているつもりです。また、カタカナ表記はウメが仏さまへ話し掛けているところです。読み込めば、ああこれは帰依している仏との会話の部分だと気づいて、なるほどと、「ガッテン」して頂けると試みました。新表現です。

その他にも電話などで(これは奥が深いネなど)沢山頂きました。

凄く気分は高揚しました。ありがたいことです。昔の人と懐かしい思い出を語り合い、新たな希望が湧いてきました。

通信教育課程で、英語テキスト第四部がありました。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の随筆があって、文学が果たす役割が書かれていました。

政治、経済のどんな立派な政策よりも、『文学による人々の、喜怒哀楽・人間である理解が、平和につながり、成果を上げる』といったものでした。また、政策の理論的な内容や理想を語っても、なかなか難しい。物語に依るほうが実現への近道ではないでしょうか。だから、私は文学の力に期待しています。

『尾道物語』は、売り出しでは華々しくはありませんが、これから何かの縁で売れ出すかもしれません。尾道の人々にも、知ってもらって、受け入れられます。(俗に言う印税(著作料)は、

売り上げの3%程度です。(500円 X3%X冊数)⇒収入と言える程のものではありません。) 今は、200冊・300冊ですが、ゆくゆくは、ミリオンセラーだ! と妄想を沸かせています。

## 2、榎原宏明君・・・「一度きりの恋」を作詞作曲

曲名「一度きりの恋」、歌手/岩桐永幸(いわきりえいこう)、4曲入りシングルCDのA面  
作詞作曲/榎原一二三、編曲/庄司龍

発売元、(株)インターナショナルミュージック

発売日、2018年4月4日(水)。DAM、JOYSOUNDのカラオケにも入ります。

価格、税込1200円

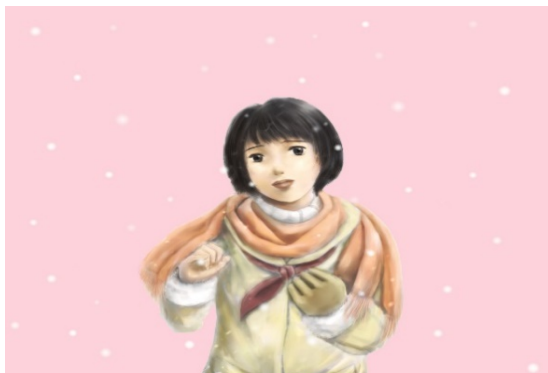
購入方法

- ① 全国のレコード店、Amazonなどのネット販売にて既に予約を受け付けています。
- ② 榎原君からの直接購入(同君の希望)送料は無料、手書きの歌詞をプレゼントします。

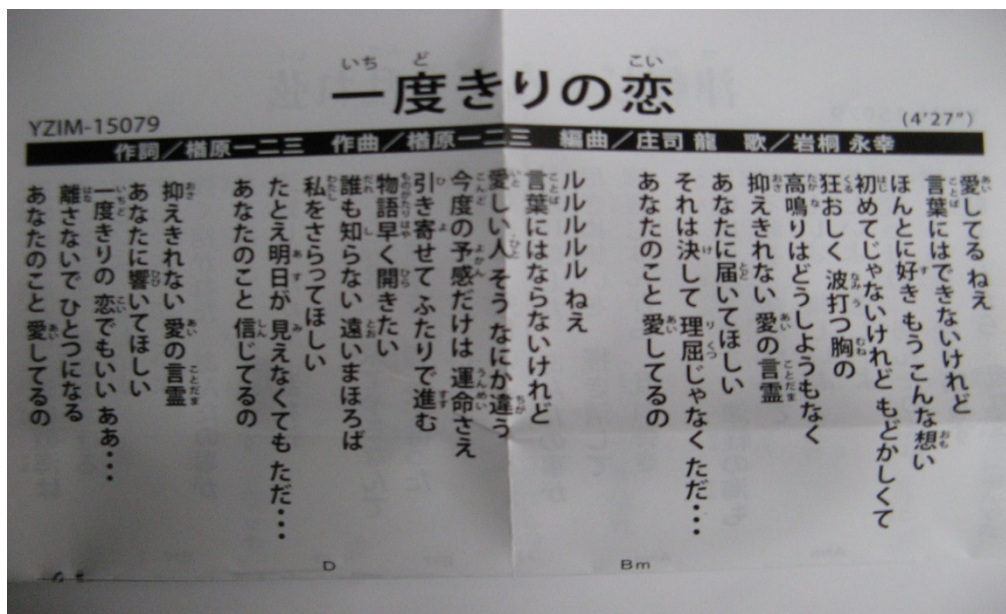
榎原君の連絡先

〒721-0911 広島県福山市青葉台4-6-8

(株)インターナショナルミュージック福山第二支社 tel.090-8378-9326



榎原君のCD表紙



歌詞

# 「一度きりの恋」を作詞作曲して

檜原宏明

2018年4月4日、岩桐永幸「一度きりの恋」発売。約3年間に渡る同曲全国発売に向けてのプロジェクトはここで終わることになります。発端は2015年5月にインターナショナルミュージックの社長、加東竜次先生がYouTubeより私の楽曲を見つけたことです。ヒット曲を出したいという社長の想いに共鳴し、そこからレコード会社、作詞作曲家、それぞれの立場から活動を始めました。

まずは適任の歌手を見つけること。これにはとても時間がかかりました。広島県東部三田会で経済リポートの西原洋社長とご縁を頂き、同曲発売、そして歌手募集の記事を書いて下さり、反響を頂きました。また、同誌2月20日号では歌手決定の速報が掲載されました。このような形で、塾縁のありがたさを再認識しました。最終的に、社長の判断でシンガーソングライターの岩桐永幸さんが歌うことに決まり、1月中旬、東京でレコーディングを行いました。

現在、YouTubeで1コーラスを公開中で、その他売り出しに向けて様々なプロモーション活動中です。社長より「檜原一二三」というペンネームを頂き、「これで終わりじゃなくて、これから頑張っていくんだよ」と言われています。ただ、今は「一度きりの恋」をヒットさせたい、多くの人に届けたい。2曲目はそれから先の話かなという気がしています。同曲は3月20日現在発売日前にもかかわらずUSENのオリコンに載りました

(演歌部門86位)。人気上昇中ということで星印がついています。

応援よろしくお願い致します。

## 編集後記

当会員2名が揃ってほぼ同じ時期に作品を世に出しました。この作品を世に出すには出版社やレコード会社から高い評価されたのでしょう。経済学部出身の河村君が、失礼ながら彼が小説家としてこのような文学的才能があることを始めて知りました。檜原君の作詞も切ない恋心が歌に表現されています。両作者の制作に到る経過や思いを書いて頂きました。塾員の皆様、是非この作品を味わって下さい。応援しましょ。

広島通信三田会報「みやじま」第53号

平成30年3月発行

発行人・編集人 迫田 勲 (広島通信三田会長)

〒731-1171

広島市安佐北区安佐町小河内1448番地

E-mail [i-sakoda@h9.dion.ne.jp](mailto:i-sakoda@h9.dion.ne.jp)